記載例

農地所有適格法人報告書

会社の定款を参考に提出年度の事業期間を記入してください。

　　　自　令和　〇年○○月○○日

至　令和　〇年○○月○○日

提出年月日

令和　〇年〇〇月○○日

　菊池市農業委員会会長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 主たる事務所の所在地　　　菊池市△△町□□××番地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 名称及び代表者氏名　　　　株式会社○○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役　○○○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号　　　　　　○○〇‐△△△△-××××

下記のとおり農地法第６条第１項の規定に基づき報告します。

法人登記簿に記載されている正式名称、法人設立形態、役職、氏名、所在地を記入してください。

記

１　法人の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 法人の名称及び代表者の氏名 | 株式会社○○　代表取締役　○○○○ | |
| 主たる事務所の所在地 | 菊池市△△町□□××番地 | |
| 経営面積（ha) | 所有農地の有無 | 有　・　無 |
| 田 | ９.8ｈａ |
| 畑 | 2.4ｈａ |
| 採草放牧地 |  |
| 法人形態 | 株式会社・有限会社・合同会社・農事組合法人等 | |

２　農地法第２条第３項第１号関係

　(1) 事業の種類

記載要領１を確認してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 区分 | 農　業 | | 左記農業に該当しない事業の内容 |
| 生産する農畜産物 | 関連事業等の内容 |
| 実績 | 米、麦、野菜 | 農作業受託、加工販売 | 造園 |
|  | 翌事業年度の計画 | 米、麦、野菜 | 農作業受託、加工販売 | 造園  農業以外もすべて記入 |

　(2) 売上高

注：農業の売上げが過半になっていることが必要です。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 年度 | 農業 | 左記農業に該当しない事業 |
| 報告対象年度の２年前(実績) | 30,000,000 | 5,000,000 |
| 報告対象年度の１年前(実績) | 29,000,000 | 4,500,000 |
| 報告対象年度（実績） | 31,000,000 | 5,500,000 |
| 翌事業年度の計画 | 32,000,000 | 6,000,000 |

「構成員」とは、株式会社にあっては株主。

合名・合資・合同会社にあっては社員。

農事組合法人にあっては、組合員。

３　農地法第２条第３項第２号関係

　構成員全ての状況

1. 農業関係者(権利提供者、常時従事者、農作業委託者、農地中間管理機構、地方公共団体、農業協同組合、投資円滑化法に基づく承認会社等)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名又は名称 | 住所又は主たる事務所の所在地 | 国籍等 |  | 議決権の数 | 構成員が個人の場合は以下のいずれかの状況 | | | | |
| 在留資格又は特別永住者 | 農地等の提供面積(㎡) | | 農業への年間  従事日数 | | 農作業委託の内容 |
| 権利の種類 | 面積 | 直近実績 | 見込み |
| ○○　○○  ○○　△△  ○○　□□ | 菊池市○○町  △△××番地  菊池市○○町  △△××番地  菊池市○○町  △△××番地 | 日本  日本  日本 |  | 50株  20株  10株 | 使用貸借 | 56,000 | 300日  300日  250日 | 300日  300日  250日 |  |

「農業」とは、農業関連事業も含んだものになります。

「農作業」とは、耕作や養畜などに直接必要な作業のことです。

|  |  |
| --- | --- |
| 議決権の数の合計  　農業関係者の議決権の割合 | 80 |
| 80％ |

　その法人の行う農業に必要な年間総労働日数：　　３００日

1. 農業関係者以外の者（（１）以外の者）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名又は名称 | 住所又は主たる事務所の所在地 | 国籍等 |  | 議決権の数 |
| 在留資格又は特別永住者 |
| 株式会社〇×商店 | 菊池市△△町□□××番地 | 日本 |  | 20株 |

|  |  |
| --- | --- |
| 議決権の数の合計  　農業関係者以外の者の議決権の割合 | 20 |
| 20％ |

（留意事項）

　　　構成員であることを証する書面として、組合員名簿又は株主名簿の写しを添付してください。

なお、農林漁業法人等に対する投資の円滑化に関する特別措置法（平成14年法律第52号）第５条に規定する承認会社を構成員とする農地所有適格法人である場合には、「その構成員が承認会社

であることを証する書面」及び「その構成員の株主名簿の写し」を添付してください。

４　農地法第２条第３項第３号及び第４号関係

1. 理事、取締役又は業務を執行する社員全ての農業への従事状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 住所 | 国籍等 |  | 役職 |  | | | |
| 農業への年間従事日数 | |  | |
| 在留資格又は特別永住者 | 必要な農作業への年間従事日数 | |
| 直近実績 | 翌事業年度の計画 |
| 直近実績 | 翌事業年度の計画 |
| ○○　○○  ○○　△△  ○○　□□ | 菊池市○○町  △△××番地  菊池市○○町  △△××番地  菊池市○○町  △△××番地 | 日本  日本  日本 |  | 代表取締役  取締役  取締役 | 300日  300日  250日 | 300日  300日  250日 | 300日  300日  250日 | 300日  300日  250日 |

1. 重要な使用人の農業への従事状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 住所 | 国籍等 |  | 役職 |  | | | |
| 農業への年間従事日数 | |  | |
| 在留資格又は特別永住者 | 必要な農作業への年間従事日数 | |
| 直近実績 | 翌事業年度の計画 |
| 直近実績 | 翌事業年度の計画 |
| 注）この欄は上の欄：4（１）の理事等で当該法人への年間従事日数が１５０日以上従事する者がいない場合のみご記入ください。 |  | 「重要な使用人」とは、法人の行う農業（関連事業を含む）関する権限及び責任を有する者のことです（例えば、農場長、農業部門の部長）。 |  |  |  |  |  |  |

（記載要領）

１ 「農業」には、以下に掲げる「関連事業等」を含み、また、農作業のほか、労務管理や市

場開拓等も含みます。

(1) その法人が行う農業に関連する次に掲げる事業

ア　農畜産物を原料又は材料として使用する製造又は加工

イ　農畜産物の貯蔵、運搬又は販売

ウ　農業生産に必要な資材の製造

エ　農作業の受託

オ　農村滞在型余暇活動に利用される施設の設置及び運営並びに農村滞在型余暇活動を行

う者を宿泊させること等農村滞在型余暇活動に必要な役務の提供

(2) 農業と併せ行う林業

(3) 農事組合法人が行う共同利用施設の設置又は農作業の共同化に関する事業

２ 「２(1)事業の種類」の「生産する農畜産物」欄には、法人の生産する農畜産物のうち、粗

収益の50％を超えると認められるものの名称を記載してください。なお、いずれの農畜産物の

粗収益も50％を超えない場合には、粗収益の多いものから順に３つの農畜産物の名称を記載し

てください。

３ 「２(2)売上高」の「農業」欄には、法人の行う耕作又は養畜の事業及び関連事業等の売上

高の合計を記載し、それ以外の事業の売上高については、「左記農業に該当しない事業」欄

に記載してください。

４　「３(1)農業関係者」には、農林漁業法人等に対する投資の円滑化に関する特別措置法第５条に規定する承認会社が法人の構成員に含まれる場合には、その承認会社の株主の氏名又は名称及

び株主ごとの議決権の数を記載してください。

ここで、複数の承認会社が構成員となっている法人にあっては、承認会社ごとに区分して

株主の状況を記載してください。

５　農地利用集積円滑化団体又は農地中間管理機構を通じて法人に農地等を提供している者が

法人の構成員となっている場合、「３(1)農業関係者」の「農地等の提供面積（㎡）」の「面積」

欄には、その構成員が農地利用集積円滑化団体又は農地中間管理機構に使用貸借による権利又

は賃借権を設定している農地等のうち、当該農地利用集積円滑化団体又は当該農地中間管理機

構が当該法人に使用貸借による権利又は賃借権を設定している農地等の面積を記載してください。

６　２，３及び４の翌事業年度の計画の欄は、報告に係る事業年度の翌年度の計画を記載してください。

７　２の翌事業年度の計画、３の住所又は主たる事業所の所在地、国籍等及び翌事業年度の計画並びに４の国籍等及び翌事業年度の計画の各欄については、農地を所有する農地所有適格法人のみ記載してください（ただし、３の住所又は主たる事務所の所在地及び国籍等の各欄については、総株主の議決権の100分の５以上を有する株主又は出資の総額の100分の５以上に相当する出資をしている者に限る。）。

　国籍等は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の45に規定する国籍等（日本国籍の場合は、「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあっては在留資格、特別永住者にあってはその旨を併せて記載してください。法人にあっては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載してください。

　なお、４の(2)については、４の(1)の理事等のうち、法人の農業に従事する者（原則年間150日以上）であって、かつ、必要な農作業に農地法施行規則第８条に規定する日数（原則年間60日）以上従事する者がいない場合にのみ記載してください。